

高齢者分野での地域ぐるみ福祉ネットワークの取り組み

1 地域ぐるみ福祉ネットワーク会議とは

今後、高齢者人口が急増していくに伴い、支援を必要とする高齢者も増加し、行政や各種サービスだけでは乗り切れない時代がやってきます。住み慣れた場所で安心して暮らせる、年齢を重ねても社会とつながり、やりがいや生きがいを持って暮らせる、そんな地域づくりを目指して、地域の方々と協働で、新たな高齢者生活支援の取り組みを検討していく会議です。

2 参加者は

地域住民、地域の団体、民間事業者や介護保険事業者・行政が会議に参加しています。

共に会議に参加することで、地域住民の希望や、施設の意向、連携の手段等について認識の共有を図ることができます。

3 検討する取り組みは

参加者が、それぞれ役割分担をしながら、協働して取り組めそうな取り組みを検討します。



行政のみが取り組むべきものについては、ご意見として伺い、行政に持ち帰って検討します。

《平成25年3月～》

地域ぐるみネットワークを活用した支えあいの展開イメージを基に、施策の展開の第一歩として、清水口小学校区と南山中学校区の2つの地域にしぼりモデル地区のリードケースとして地域ぐるみネットワークの取り組みを展開。

両地区とも、市内でも特に高齢化率が高い自治会が数か所あることから、「ふだんの高齢者の見守り」をテーマに。

モデル地区	清水口小地区	南山中地区
構成メンバー	<ul style="list-style-type: none">・自治会、管理組合 11団体・ボランティア団体等 4団体・医療機関 1機関・民間事業所等 4事業所・社協、行政等 5団体	<ul style="list-style-type: none">・自治会、管理組合 4団体・ボランティア団体等 10団体・地域のサロン 5団体・民間事業所等 6事業所・社協、行政等 6団体

モデル地区	清水口小地区	南山中地区
平成25年度の 取り組み	<p>目標: サロンの拡充・充実 (高齢化への危機感や地域で挨拶ができる関係づくりが必要)</p>  <p>『西白井複合センターを活用した広域的サロンの具体化』</p> <p>※H26.4月 開設「梨の実ひろば」</p> <p>主体: サロン運営委員会(住民有志) 協力: (施設提供) 西白井複合センター指定管理者 特定非営利活動法人ワーカーズコープ (講座や出前相談等による支援) 市・市社会福祉協議会</p>	<p>「高齢者のふだんの見守り」をテーマに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンの拡充 ・高齢者の活躍の場の確保 ・自治会交流の場を広げる ・民間事業者の見守り など、複数のアイデアについて、様々な意見が出された。 <p>『「高齢者見守りネットワーク」への地域の声の反映』 (概要)</p> <p>高齢者の孤立化・孤独死を防ぐため、民間事業者等と協定を取り交わし、事業者等の高齢者に係る情報が連絡されやすい体制となるような仕組み。</p> <p>○協定を取り交わす相手は民間事業等</p>  <p>H26.7月 高齢者見守りネット協定書締結式へ。</p>
平成26年度の 取り組み	<p>○サロン「梨の実ひろば」の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日平均44人の利用者 → 地域に根付いた交流といこいの場。 ・就労継続支援B型事業所「ぼけっと」のパン、生活介護事業所「手塩塾」のクッキー販売。 → 障害者の支援と社会参加の機会。 	<p>○3つのテーマについて検討。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①認知症について理解を深める。 → 認知症の方と家族、地域の人たちが集える機会の確保(認知症カフェの開催)。 ②介護保険・民間事業者の専門知識を市民に伝える仕組みの確立。 → 地域の先生プログラム制度の確立。 ③買い物ニーズを知る。 → アンケートの実施。※継続して検討。

モデル地区での実績から、平成27年度以降は市を大きく2圏域に分け、小学校区ごとに展開。

A圏域：白井第一小学校区、白井第二小学校区、南山小学校区、池の上小学校区、桜台小学校区

B圏域：白井第三小学校区、大山口小学校区、清水口小学校区、七次台小学校区

モデル地区の試行運用
(H25~26)

地域の事業者、住民が自由に参加できる緩やかな会議体制。
毎月1回開催し、地域ごとにグループとなって、地域課題について話し合う。

平成27年度より

A圏域

白井第一小学校区
白井第二小学校区
南山小学校区
池の上小学校区
桜台小学校区

B圏域

白井第三小学校区
大山口小学校区
清水口小学校区
七次台小学校区

会議の進め方として、小学校区ごとにグループワークを行い話し合った内容を発表し合う。

※ 市の関係課職員や市社会福祉協議会の職員も共にグループワークに参加。

圏域	A圏域	B圏域
27年度の取組	<p>○高齢者の困りごとについて、地域でできることの検討。</p> <p>第一小区: 移動手段がない。 安心ネットワークに向けての取り組みの検討。</p> <p>第二小区: 交通の便が悪い。買い物が不便。 買い物支援対策の検討。</p> <p>南山小区: 買い物支援方策の検討。</p> <p>南山小区、池の上小区: 訪問型見守りの検討。 (平成26年度より継続)</p> <p>桜台小区: 交流する場がない。 高齢者の見守りの検討。 (南山小区、池の上小区と連携し検討)</p>	<p>○高齢者の困りごとについて、地域でできることの検討。</p> <p>第三小区: 引きこもり。 引きこもりがちな男性を呼び込む事業の検討。</p> <p>大山口小区: 認知症。 みんなで認知症について学ぶ機会の検討。</p> <p>清水口小区: 認知症。 モデル事業で立ち上げたサロン「梨の実ひろば」の活用。例えば認知症カフェとしてなど。</p> <p>七次台小区: 引きこもり。 居場所づくりの検討。</p>
28年度の取組	<p>○平成27年度からの事項を引き続き検討。</p> <p>第一小区: ネットワークづくりの一環として、地域交流事業を検討。 はしそろピックを福祉施設等で開催。</p> <p>第二小区: 自助が根付いている。多世代交流の検討。</p> <p>南山小区、池の上小区、桜台小区: 訪問型見守りの検討、試行運用。</p> <p>南山小区: 買い物支援方策の検討。</p>	<p>○平成27年度から引き続き、地域でできることの検討。</p> <p>第三小区: 交流の場の確保の検討。</p> <p>大山口小区: 地域での話し合いの場を生かし、地域づくりに向けての検討。</p> <p>清水口小区: 要支援の人が元気になる居場所づくりの検討。→巡回サロンなど。</p> <p>七次台小区: 地区社協でできることからはじめよう、をテーマに、できる取り組みの検討。</p>

地域から出た意見を制度化した事例

高齢者の見守りの取り組みについて、南山小、池の上小、桜台小区の検討から試行運用を経て、平成29年度下半期より制度化。本格運用へ。



白井市 **お元気みまもり** 事業

事業担当：白井市高齢者福祉課 地域包括支援センター

「お元気みまもり事業」は、住民による**定期的な訪問**、地域の団体による**電話**などによって、**◎お元気に過ごしているかどうかを確認**する取り組みです。

利用することで、次のような利点もあります。

- 地域にあいさつ仲間、顔見知りが増える
 - 自宅で倒れたり、亡くなってしまった場合、発見のきっかけになる
- 対象になる方は次のとおりです。お気軽に利用ください。

対象になる方

：対象になる方で利用を希望する場合、市に申請をしてください。

市内に在住する高齢者で、公的サービス*による週1回以上の自宅訪問がなく、原則、次のいずれかに該当する方

1. ひとり暮らしの65歳以上の方
2. 65歳以上のみの世帯（高齢者のみ世帯）に住む75歳以上の方
3. 65歳未満の同居家族がいるが、家族の就労などにより、日中ひとり（日中独居）となる75歳以上の方

*医療サービスや介護サービス、市の福祉サービスなど

→ 対象になる方は、市の決定により「見守り登録者」となります。

